

自治体等への請願・陳情・要望等実施報告

報告団体名 岩手県生活協同組合連合会

種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 請願 <input type="checkbox"/> 陳情 <input type="checkbox"/> 要望 <input type="checkbox"/> (○で囲む)
提出日	2023 年 10 月 13 日
提出先	岩手県議会 議長 工藤大輔宛
提出者	岩手県生活協同組合連合会 他 3 団体 ⇒いわて生協／岩手学校生協／岩手県消団連
紹介議員	「希望いわて一千葉秀幸」「いわて新政会—佐々木朋和」「いわて県民クラブ・無所属の会—ハクセル美穂子」「共産党—斉藤信」「社民党—木村幸弘」の 5 党派と、無所属の田中辰也
標 題	福祉灯油の全市町村での実施を求める請願
趣 旨	<p>灯油は北国に住む私たちにとって重要な暖房燃料。この間 18 リットル 1 缶 2000 円近い価格が続き暮らしを圧迫しています。灯油の原料である原油は、ロシアによるウクライナ侵攻により 2 年前から高騰し、今もなお OPEC プラスによる協調減産とアメリカの需要拡大が供給不足感を作っており、高値となっています。現在は 1 バレル 90 ドルになっており、今後も上昇の可能性があります。加えて日本では 1 ドル 147 円という円安が、灯油価格に影響を与えています。</p> <p>2022 年度冬期間における平均的な家庭の灯油代は、いわて生活協同組合調べでは 893 リットル（18 リットル缶で約 50 缶）の使用で約 96,000 円と、2 年連続で 9 万円を超え、一昨年より 2 万円以上も負担が増えています。</p> <p>今年も、電気、ガス、食料品を始めとする生活関連品の継続した値上げが行われており賃金上昇が物価高に追い付かず、暮らしは厳しさを増しています。</p> <p>こうした中で 1 缶 2,000 円以上もの灯油代の負担は、冬場の家計を圧迫します。寒冷地のセーフティネットとして、「福祉灯油」は必要で継続して実施すべき施策です。</p>
請願・陳情・要望の項目	寒冷地岩手のセーフティネットとして、低所得者のための「福祉灯油」等の助成を、全市町村を対象に規模を拡大して実施すること。
結 果	2023 年 10 月 20 日 (結 果) 本会議にて採択

